項　目	内　容
名称	セイヨウオオバコ、オニオオバコ、トウオオバコ、プランテーン　[英]Plantain、Common Plantain、 Great Plantain　[学名]Plantago major L.
概要	オオバコは、オオバコ科オオバコ属の植物で、世界各国に広汎に分布している。世界には200種ほどのオオバコがあり、地域によって使用するオオバコの種類は異なるが、いずれも古くから民間薬として利用されてきた経緯がある。この項はセイヨウオオバコについて記載する。その他、オオバコ属に関連する情報は (オオバコ属)を参照。セイヨウオオバコは、ヨーロッパ原産で、日本のオオバコよりも大きく、草丈が60 cmに達する植物である。葉菜の一つとして食用に利用されている。日本薬局方では生薬の車前草 (シャゼンソウ) にオオバコの全草が利用されているが、中国や欧米ではセイヨウオオバコも基原植物に含めている。
法規・制度	**■食薬区分** ・全草：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・全草にはイリドイド配糖体であるオークビン (aucubin) 、フラボノイドであるプランタギニン (plantaginin) 、プランタギン (plantagin) 、ホモプランタギニン (homoplantaginin) のほか、ウルソール酸、ヘントリアコンタン、β-シトステロール、スチグマステロール、アスコルビン酸、クエン酸、ビタミンK、β-カロテン、

		カルシウムを含む。種子にオークビン、プランテノール酸、プランタサン、アデニン、コリン、コハク酸などを含む。
分析法		・オオバコ属中のイリドイド配糖体をミセル動電クロマトグラフィーにより定量分析した報告がある (PMID:15018047) 。
有効性		
ヒトでの評価	循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

総合評価	
参考文献	(7) 中薬大辞典　小学館 (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について) (58) The Complete German Commission E Monographs (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS). (101)Newall CA, Anderson LA, Philpson JD. Herbal Medicine: A Guide for Healthcare Professionals. London, UK: The Pharmaceutical Press, 1996. (102)Brinker F. Herb Contraindications and Drug Interactions. 2nd ed. Sandy, OR: Eclectic Medical Publications, 1998. (PMID:15018047) Z Naturforsch C J Biosci. 2004 Jan-Feb;59(1-2):27-31. (PMID:7545882) Allergy. 1995 Mar;50(3):269-73. (PMID:19338603) Contact Dermatitis. 2009 Apr;60(4):237-9. (PMID:23239780) BMJ Case Rep. 2012 Dec 13;2012.

© National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition. All Rights Reserved.